

■ 編集:呂家誌事務局長

■ 発行:吳菁宜理事長(会長)

■ 作者:

- 政策法規委員会紀彣宙委員長、吳益芳、林睿騏、蔡沛潔、侯雅倫、陳德群、 陳貞夙委員、他
- 専門教育委員会周映君委員長、陳官琳、王湉妮、陳顥齡、黃百川、黃千瑀、 楊尚育、鄧雅凌、張嘉玲、黃湘涵、涂育嫺委員、他
- 専門職推進広報委員会陳德群委員長、陳韻玲、王志元、楊子鑫、林昶霆、 楊昀霖、張開、陳宜男、蘇姵綺委員、他
- 国際事務委員会蔡宜蓉委員長、詹佩穎、黃俐貞、陳韻玲、張玲慧、張鳳航、 吳建德、陳思帆、王湉妮、李怡欣、張家妤、廖研蒲、葉淨維、謝孟璇委員、他

■ 日本語訳:王治文

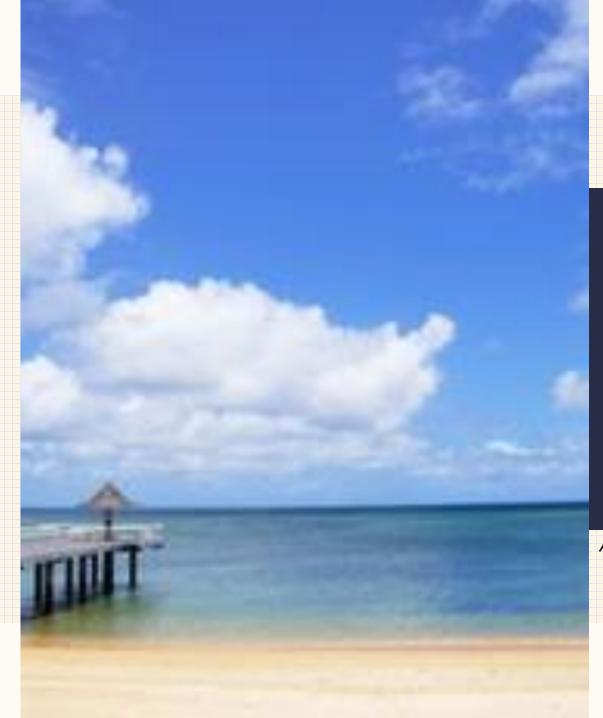
はじめに

- 作業療法士(以下OTR)は急患や重症度の高い施設で勤務することが少ないにもかかわらず、COVID-19による肺炎で人と人との距離や行動が変化され、OTRの勤務や学習、労働者権益にも影響されている・したがって、学会(以下TOTA)は臨床勤務のOTRたちが無事に乗り越えていくことに協力し、関連するガイドを作成した・
- 今回の内容は5つのテーマがある
 - 職場ではCOVID-19をどうのように予防するか
 - 人々に対してCOVID-19の影響を和らげる提案
 - OTRはCOVID-19流行時に注意すべき権利
 - COVID-19流行時での研修に対する提案
 - 国際OT組織からCOVID-19対応についての提案

職場ではCOVID-19をど うのように予防するか

国際OT組織からCOVID-19対応についての提案 人々に対してCOVID-19の 影響を和らげる提案

COVID-19流行時での研 修に対する提案 OTRはCOVID-19流行 時に注意すべき権利



職場ではCOVID-19をどうのように 予防するか

- どのように最新の正確な感染予防に関する情報を手 に入れるか
- 自主的健康管理
- 職場環境での感染予防行動

作者:陳德群、陳韻玲、王志元、楊子鑫、林昶霆、 楊昀霖、張開、陳宜男、蘇姵綺

- 中国武漢地区2019年年末ころからウィルスによる肺炎のクラスター感染が多発し、2020年1月17日新型コロナウィルスの病原体が検出された・世界保健機関(World Health Organization, WHO)は1月31日国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(Public Health Emergency of International Concern, PHEIC)に該当すると発表し、2月11日にこのウィルスをCOVID-19と正式に命名した・わが国にはすでに海外からの入国者の発症と国内発生の症例がいた・
- 今までの感染者の病状の深刻さとOTRの臨床で曝露のリスクから考え,OTRに感染状況に対し正しく認識してもらい,OTRおよび対象者の健康を守るため,感染コントロールに関連する対策を提案する・

どのように最新の正確な感染予防に関する情報を手に入れるか

- 疾病管制署公式ホームページにてCOVID-19の情報を検索する・ (<u>https://www.cdc.gov.tw/Disease/SubIndex/N6XvFa1YP9CXYdB0kNSA9A</u>)
- 疾病管制署公式LINEアカウント「疾管家」を登録し、最新の感染状況に関する情報と 政府の公式発表を手に入れる・
- COVID-19に関する教育や研修を受け、COVID-19の臨床症状、感染方法、症例の届け出る条件および予防対策を理解する、疾病管制署のデジタル学習課程での自主学習が可能である。

(https://www.cdc.gov.tw/Category/Page/8rZJtd4HgGx65T43EgQiAg)

■ 所属部署が制定したCOVID-19に対応する感染コントロール対策ガイドを理解する・

自主的健康管理

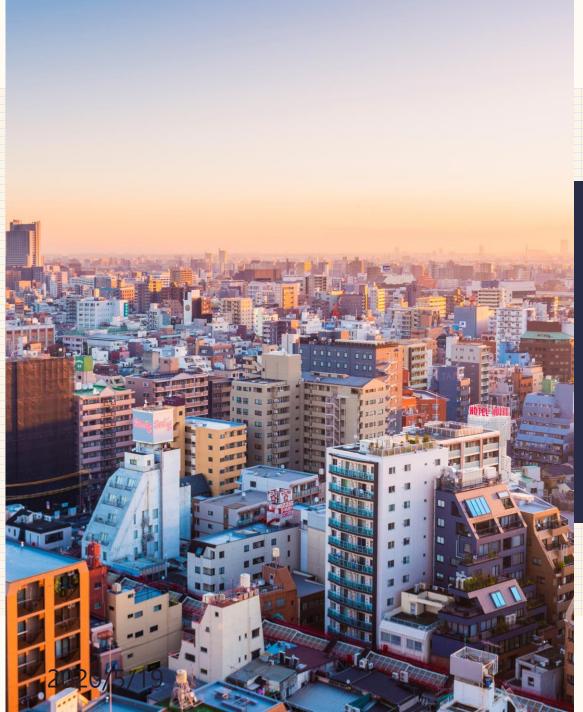
- 毎日2回の体温測定を行う・発熱(耳式で38度以上)・痰が絡まない咳・筋肉痛・倦怠感・下痢・嗅覚または味覚の異常があるなどCOVID-19の感染と疑われる症状があった場合・すぐに受診してください・
- OTRは発熱があった場合・解熱剤を使用しない状況で解熱・24時間を経過してから出勤してもよい・
- 医師にCOVID-19検査が必要と判断されたOTRは以下の条件を満たしてから出勤してもよい:
 - 解熱(解熱剤を使用しない)24時間以上を経過・かつ
 - 呼吸器症状(咳・呼吸困難など)がない・<u>かつ</u>
 - 連続2回(採取間隔は24時間以上)鼻粘膜もしくは咽喉粘液,または喀痰から採取した検体でCOVID-19の陰性であった・

職場環境での感染予防行動

- マスクを正しくつけること
 - OTRはOT業務を従事する際にすべての時間にマスクを正しくつけてください・治療の必要な場合を除いて,対象者にもすべての時間にマスクをつけてもらうようにしてください・
- 手の清潔を確実に保つこと
 - 手洗いのタイミングと手順を熟知する・アルコール消毒液を持ち歩きする・手洗いができない場合擦式アルコール手指消毒で代用する。
- 対象者の健康を留意すること
 - 対象者がCOVID-19に感染するリスクの有無を知るコントロール対策を取ってください・例えば発熱やほかの疑わしい症状を注意し,旅行歴,職業,接触歴,および周りに症状のある人がいないかなどを聞く,もしくは中央伝染病指揮センターが発表した感染リスクを確認する。
 - 対象者がCOVID-19に感染するリスクがあった場合,リスクがなくなるまでOTサービスを見合わせてください・リスクのある対象者は切迫にOTサービスを受ける必要がある場合,OTRが疾病管制署が発表した「COVID-19感染の対応に医療従事者の個人防護具の提案」に従って,適切な防護対策をとってからサービスを提供してください。

職場環境での感染予防行動

- 器材と環境の清潔と消毒
 - 評価や治療に使用する器材は使用頻度と治療環境の感染状況に応じて,適度に清潔消毒の 頻度を高くしてください。
- この提案は感染状況によって改訂する・不備のある場合疾病管制署が発表した関連の ガイドを参考してください・



人々に対してCOVID-19の影響を 和らげる提案

- 立ち止まる:落ち着いて,理性的に向き合う,過度 の不安にならない
- 目を注ぐ:毎日の日常生活活動を振り返り・生活の中の信号を見極める
- 耳を傾ける:正式なルートを通して,最新の正確な 感染予防情報を入手する

作者:陳德群、陳韻玲、王志元、楊子鑫、林昶霆、 楊昀霖、張開、陳宜男、蘇姵綺

- 2019年年末中国武漢地区でCOVID-19感染がブレークアウトしてから台湾も断続的に海外からの入国症例や国内発症の症例が発生している・中央伝染病指揮センターが発表した感染予防の諸対策は人々の日常生活習慣にある程度影響する・COVID-19の高い感染力と・いまだに有効な治療薬が開発できていない現状を加え・国際的に感染拡大・メディアの持続的報道などで・人々は感染予防期間中にストレスが高まる・いつ収束するかわからない伝染病に向き合って・今までのように将来に対して計画を立てることができず・これもまた緊張と不安を増している・
- OTRは専門職の立場から「立ち止まる・目を注ぐ・耳を傾ける」を提案し・人々が日常生活の中でも効果的に予防対策を取り・不安をやわらげ・生活の質を取り戻すことに協力する・

立ち止まる:落ち着いて、理性的に向き合う、過度の不安にならない

感染状況は私たちの健康にリスクをもたらしているが・24時間ずっと高リスクの中で神経を張って構わなければならないことではない・キーポイントのときだけ特に注意すればいい

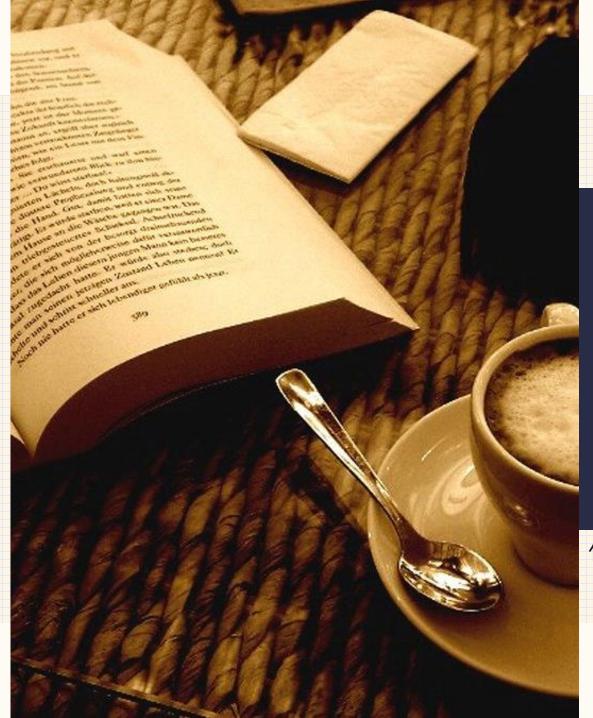
目を注ぐ:毎日の日常生活活動を振り返り、生活の中の信号を見極める

- 5分間を利用して一日起きてからどんなことをするかをよく考え,これらのこと(作業)の感染リスクを判断してください、三段階に分けることができる:
 - 赤信号-高リスク:作業を見合わせるか,一層高い防護対策をとる,もしくは代案を考える.
 - 人混みの夜市でグルメを楽しむことは高リスクであり、最後までずっと正しくマスクを着用すべきである、食べ歩きをやめ、持ち帰りもしくはデリバリーを利用する。
 - 外来リハビリを受ける対象者は一定の時間と外出頻度に変更してください・活動量の維持と衰えの防止が必要である・もしくは訪問リハ等の訪問サービスの利用を申請してください・
 - 黄色信号-中リスク:作業を行ってもいい.適切な感染予防対策をとれば,今までのように 従事することが可能である.過度に不安を思う必要はない.
 - エレベーター乗るとき正しくマスクをつけ、会話を避ける、肘もしくはペン先でパネルを押す、
 - 今までの同僚とのランチを避け、各自で食事をとる・雑談は食事後マスクをつけた状態で行う・ 咳エチケットに気を付けてください・
 - 青信号-低リスク:今まで通りに行ってもよい・
 - 家で食事する,音楽を聴く,お茶を楽しむ,デザートを作る,山登り,ツーリング,人の少ない広い屋外でリラックスするなどは今まで通りに行ってもいい。

耳を傾ける:正式なルートを通して、最新の正確な感染予防情報を入手する

- 3C (パソコン・通信・家電)商品の普及により、情報や入手ルートが多くなり、フェイクニュースも多くなる・
- 疾病管制署の公式ホームページ・もしくは公式LINEアカウント「疾管家」・中央伝染病指揮センターの記者会見等で自分に役に立つ正確な情報を手に入れ・フェイクニュースによる混乱と余計な不安を避ける・学んだ感染予防の知識を活用し・家が安全安心・休息できる環境に整える・

自分の生活スタイルの分析は感染予防生活に新しい準備と計画に役に立つ. 自分自身には必要なタイミングで適切な対策をとればよいと念を押し, 感染が収まらない中でも自分の満足できる生活を過ごす.



OTRはCOVID-19流行時に注意 すべき権利

- ■労働者の権利
- ■職場環境の労働安全衛生
 - ■雇用者側
 - OTR側

作者:紀彣宙、吳益芳、林睿騏、蔡沛潔、侯雅倫、 陳德群、陳貞夙

労働者の権利

- OTRは医療機関で感染予防に関連する仕事を従事する場合,手当を申請することができる(重度特殊感染性肺炎防止及び支援振興特別条例(以下感染予防条例)第2条)・
- OTRは感染予防に関連する仕事を従事する際けがもしくは死亡する場合・補償をもらうことができる(感染予防条例第2条)・
- OTRは意図せず隔離させられた場合(自宅待機など)・主管する機関の認定を経て手当を申請することができる(感染予防条例第3条)・
- OTRは意図せず隔離させられた場合,雇用者が特別休暇を与えるべきである・有給休暇や欠勤扱いすることができず,皆勤手当て支給の支障にもしてはいけない(感染予防条例第3条)・

労働者の権利

- 労働者が有給休暇を取得する場合,雇用者は支給した賃金の2倍まで税金を免除することができる(防疫条例第4条)(有給休暇を取得させることの推進)
- 雇用者は必要な防護具の提供や対策をとることができない場合、OTRが感染地域での勤務を拒否することができる・雇用者は強制的に要求する・かつ必要な防護具の不提供・対策をとらないことによって労働者の権利が損なわれた場合・労働者からは労働契約の中止が可能であり・雇用者が退職金を支払わなければならない(重度特殊感染性肺炎に対応する職場安全衛生防護対策ガイド)・
- 再確認:雇用者は労働者の勤務時間や賃金を減らす必要があった場合,事前に労働者と交渉し,労働者が同意したうえで実施する.無給休暇を取らせることができない.関連説明は以下のサイトを確認してください.

https://www.mol.gov.tw/announcement/27179/13787/

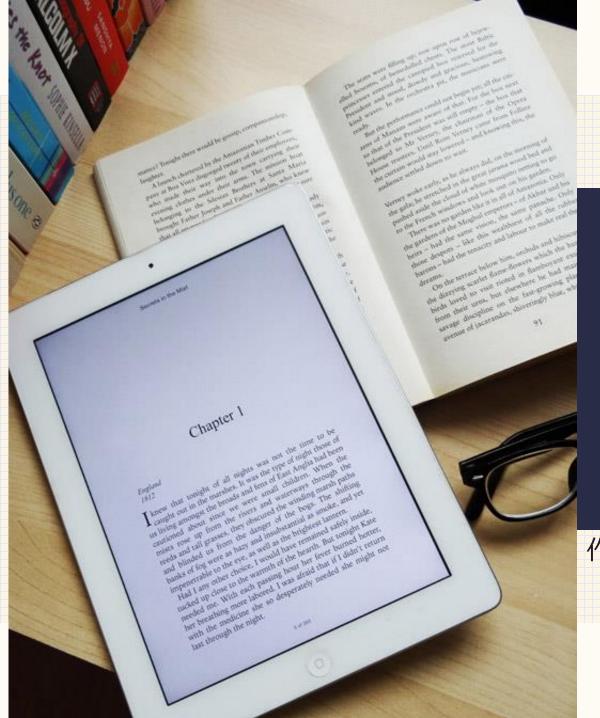
職場環境の労働安全衛生

雇用者側

- 職場には十分のマスクまたは防護具を,業務を従事するOTRに提供しなければならない・OTRにマスク着用を禁止してはならない
- 職場環境の消毒を強化してください

OTR側

- 個人の衛生行動を強化してください・例えば 体温測定・手洗いの徹底など
- 高リスクの対象者と接するOTRは必ず必要な 防護対策をとってください・例えば傷口を触 るとき手袋をつける・勤務時間中マスクをつ ける・必要に応じてフェースシールドを着用 するなど
- 健康保険証の情報を読み取れない場合必ず旅行歴,職業,接触歴,および問りに症状のある人がいなどを確認してください・ウスクの対象者に対してサービスを停止しい、関係機関に通報してください・体むように勧めてください・



COVID-19流行時での研修に対 する提案

- ■遠隔授業
- ■面接授業
 - 主催側
 - 学習者
- 実習教育への提案

作者:周映君、陳官琳、王湉妮、陳顥齡、黃百川、 黃千瑀、楊尚育、鄧雅凌、張嘉玲、黃湘涵、涂育嫺 ■ COVID-19は世界で大流行となっている・このウィルスに対し未知なことがまだ多いが、この感染症がすでにわれわれの健康と安寧に脅かし、生活や社会活動、学習形態を影響してしまっている・この感染症が流行している期間中、人と接する機会を避け、クラスター感染を予防する原則に基づき、人々の学習方法が劇的に変化となり、もっと積極的にAI技術を利用し、教育と学習に対応と調整を行わなければならない・TOTAは会員と主催者に参考となるよう、以下のことを提案する:

遠隔授業

- 遠隔授業は学習において避けられない流れとなっている・同時双方向型でもオンデマンド型でも取り入れ可能な方法である・ただ・セキュリティに注意する必要がある・セキュリティリスクの低いICTソフトの採用・国内商品優先に使用することを勧める・現在教育部が同時双方向型の教学での使用に提案したソフトは以下である:
 - CyberLink U Meeting
 - Microsoft Teams
 - Cisco WebEx
 - Adobe Connect
 - Google Hangouts Meet
 - Jitsi Meet

遠隔授業

- 同時双方向型(リアルタイム放送)授業は教師側と学生側のネット環境を考慮しなければならない・例えばネット通信速度・スマートフォンやパソコンの通信状況が画面と音声の流暢性に影響し・学生と教師のやり取りなどの学習対応を損ねてしまう可能性がある・
- リアルタイム放送について参考になるサイト:「感染予防でも学習止まらないー遠隔 授業まとめ」(https://learning.cloud.edu.tw/onlinelearning/#content-4)
- オンデマンド型授業はビデオカメラまたはevercamを利用して録画し、授業用サイト かYoutubeに保存する、学生とのやり取りはネット上の掲示板を利用する・

遠隔授業の注意事項

- 遠隔授業には著作権の問題と関係する可能性がある・教師は遠隔授業を利用する際に、ネット上のホームページ・または映像や教材の最初に警告文を加えることを勧める・警告文の例は以下である:この映像または教材の内容は今回の授業に参加する学生だけに使用させる・教師の同意なしに・いかなる理由での転載・散布・複製・公開放送・出版もしくは内容の発行は認められない・教師の権利が侵害された場合・法律上に責任を負うこととなる。
- 授業を主催する側に,学生が授業を申し込むと同時に著作権保護の同意書に署名させることを勧める.

面接授業

- 面接授業型を採用する場合,政府の感染予防政策を遵守し開講してください・
- TOTAは中央伝染病指揮センターが発表したソーシャルディスタンシングに関するガイド及び集会に関するガイドに基づき、授業の主催者と学習者に以下の提案をする:

面接授業への提案一主催者

■授業前の準備

- 無風の状態で,室内では1.5メートル,室外では1メートルの距離を保つことが望ましい・したがって,場所を検討する際には原則的に少人数制で大きい教室を利用し,受講者定員は教室座席数の50%以下とする。
- 事前に着座可能・不可の座席を設定し、学習者に明示して着座させてください、可能の限り座席を固定させるか、着席記録を残してください、
- 学習者には発熱(額温37.5度以上,耳温38.0度以上),または呼吸器症状があった場合, 自宅で休み,受講に来ないようにと伝えておいてください。
- 学習者に旅行歴・他者と接触歴などの調査票を記入するようにと勧め・クラスター感染の リスクを減らす・
- 学習者に自分で防護用品(マスク・手袋・ゴーグルなど)を準備するように伝え・手洗い を徹底するように勧める・

面接授業への提案ー主催者

■ 授業当日

- ポスターまたはスクリーンには,重度特殊感染性肺炎予防の強化および個人衛生習慣の維持のお知らせを明確に示す・その内容は衛生福利部疾病管制署ホームページ (https://www.cdc.gov.tw)よりダウンロードし利用してください・
- 授業開始前と終了後必ず環境と設備の掃除と消毒を行ってください・地面・机・いす・ドアノブ・演台机・キーボード・マウス・マイク・レーザーポインター(プレゼンター)などが含まれる・
- スタッフは開始時から終了までずっとマスクをつけ,入り口で受講者の体温を測り,アルコールもしくは消毒液を準備し受講者に使用してもらう・受付には1メートル間隔の並ぶ位置を明示する・受講者は持参したペンを利用してサインする・主催側のペンを使用する場合,消毒が必要である。

面接授業への提案ー主催者

■ 授業当日

- 当日受講者は発熱または呼吸器症状が見られた場合,必ずマスクを着けてもらい,帰宅または受診するまで隔離空間(風通しの良いかつ出入り口ではない場所)に待機してもらう、またスタッフは主催側責任者に報告しなければならない、必要な場合専門ダイヤル1922に電話し,次の行動を指示してもらう。
- ソーシャルディスタンシングを保つスペースがない場合,受講者が必ずマスクをつけ,飲食しないように協力する.
- 身体接触の実技が伴う授業内容であれば,受講者が必ずマスク,手袋,必要に応じてゴー グルをつけ,飛沫接触を防ぐ・
- 食事が必要な場合・十分なソーシャルディスタンスを保ち・時差飲食を勧める・また・食事の際の会話を控えるよう受講者に促す・

面接授業への提案ー受講者

■ 受講前

- 自分の健康状態に留意し,発熱や呼吸器症状があった場合,主催者側に参加申し込みの取り消しの連絡をしてください・
- 授業の内容に応じて自分の防護用品を点検してください・
- 主催者側の協力に応じて旅行歴や接触歴を事実に基づき記入してください・

■ 受講当日

- 受講の移動は公共交通機関を利用する場合,もしくはエレベーター等の密閉空間にいる場合,マスクをつけてください。
- 教室の入る前に,スタッフの指示に応じて体温を測り,手洗いもしくは両手を消毒してください,発熱があった場合,教室に入らないでください。
- スタッフに指示に従って着席してください・自分の席に近い受講者の名前と位置を確認してください・ソーシャルディスタンスを保てない場合・授業終了までマスクをつけてください・

面接授業への提案ー受講者

■ 受講当日

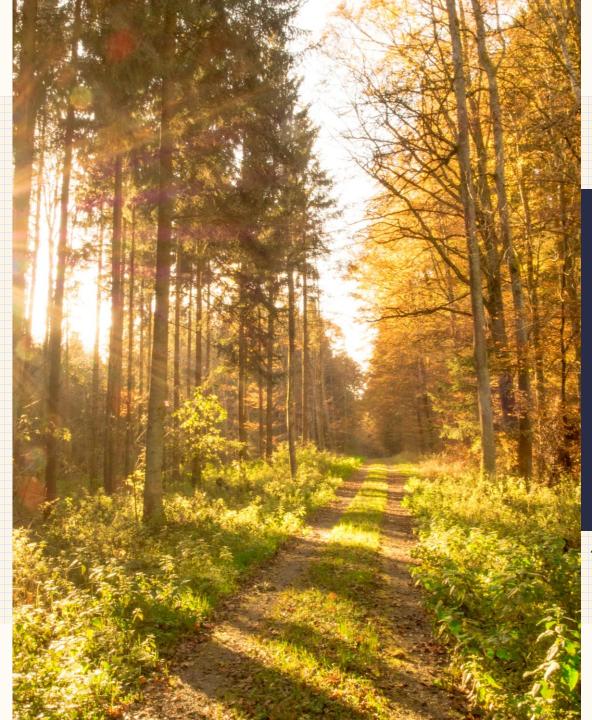
- 教室内飲食もしくは会話を控えてください・体調等の原因で(例えば低血糖など)飲食が必要な場合,教室の外で行ってください・
- 実技開始前に手洗いをし、マスクと手袋をつけてください、実技終了後も手洗いをし、顔や口、鼻を触らないようにしてください。
- グループディスカッションが含まれる授業の場合,終了までマスクをつけてください・グループとグループの間にも距離を保ってください。
- 以上は中央伝染病指揮センターが公表したガイドに基づいた提案であり,ガイドの修正により変更する可能性がある・クラスター感染による感染拡大を防ぐため,受講者自分自身は健康防護と安全への自覚を高めることが最も重要である・

実習教育への提案

■ 作業療法学生は学校における学習方法は教育部及び各学校の規定に従うが、臨床実習課程は感染状況の変化に応じ対応策をとる・世界作業療法士連盟(WFOT)の作業療法教育最低基準に関する声明(https://www.wfot.org/news/2020/covid-19-and-wfot-minimum-education-standards-statement)に・臨床実習は学生が生物・心理・社会学的方法で対象者との協業を学べるかが趣旨であり・診断や実習場所はこだわらない・この流行期間中・各学校は今までの実習機会を大切にすることを学生に指導すると同時に・地域での感染状況が学生の実習に影響を与えるかを留意し・事前に計画を立て討議するように提案する・

実習教育への提案

- 感染状況が厳しくなる中で,実習教育の目的と時間数に満たすために,以下の対策を 提案する:
 - 各学校と契約した臨床実習病院の余剰定員を事前に精査し,機敏に実習学生を手配する・
 - 衛生福利部,教育部,または実習施設の要求に従って実習が中断となった場合,ロールプレイ,模擬症例や状況などの方法で実習を振り替える.臨床教師の協力のもとで問題をベースにするケーススタディ,映像で評価,実証検討と個人学習のフィードバックなど学習方法を利用して学習効果を達成する.
 - 異なる実習領域の開発もしくは遠隔健康サービス(telehealth)利用での実習を行い,学生に遠隔学習でも,必要な対象者にどのように作業療法サービスを提供するかを学ばせることができる.



国際OT組織からCOVID-19対応 についての提案

- World Federation of Occupational Therapists (WFOT)
- World Federation of Mental Health (WFMH)
- American Occupational Therapy Association (AOTA)
- Occupational Therapy Australia (OTA)
- The Royal College of Occupational Therapists (RCOT)

作者:蔡宜蓉、詹佩穎、黃俐貞、陳韻玲、張玲慧、 張鳳航、吳建德、陳思帆、王湉妮、李怡欣、 張家妤、廖研蒲、葉淨維、謝孟璇

- 「作業」は人の生活の中でしたい,する必要がある,またはするようにと期待される意味のある活動である・しかしCOVID-19の感染拡大で,世界中の人々,家庭や地域における命,健康と幸福が大きく脅かされ,多くの活動の参加に制限されることについて,私たち社会全体は理解する必要である・
- OTRはこれらの障害より人々の生活の質および心身の健康が影響されることを理解できるゆえに、個人・家庭・地域向けの日常ルーティンの配置調整・ソーシャル活動の改善・環境及び補助具・テクノロジーの応用等で人々の心身の健康を維持するための対応策を考えることができる・
- そのほか,作業療法の実施は政策の規制に応じて調整しなければならない・TOTAは以下 の情報をシェアすることを通して,作業療法臨床家,教育者,学生等に今の厳しい状況で 即時に対応できるように協力する・

World Federation of Occupational Therapists (WFOT)

- 感染状況は人と直接接触する状況が制限されたため、WFOTは作業療法教育最低基準 (Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists)に関して 声明を出し、作業療法教育提供側がオンライン教育を使用するように提言した・また、研 究の継続のため、研究者には研究方法、データ収集と介入方法を調整するようにと提言した・
- 臨床実習(Practice placements)は作業療法教育において必要不可欠であり、最低基準には1000時間以上実施と定められた・また時間は異なる国や地域の事情・リソースの違いに応じ認定方法をダイナミックに調整する・
- 作業療法教育最低基準において,これらの時間数は特定の施設や環境にて実施すると限らず,対象者の診断や作業療法サービスの方法もこだわらない。

World Federation of Occupational Therapists (WFOT)

- ロールプレイとシミュレーション(role play and simulation)を実習のひとつの形式として利用する教育プログラム(education program)がある・
- ほかには:其他教育方式包含:
 - 問題をベースにした症例研究(problem-based case study work),
 - 映像で評価(video assessments)・
 - 深く知らされた証拠による内省的実践(in-depth, evidence informed reflective practice)
- 次々に出てくる問題に対応し、WFOTはCOVID-19の影響およびこれらと作業療法専門職との関連に関する要求を支援し、資源を共有と発展するため、無料の専門的なフラットホームを設置した、このサイトはOTIONのホームページ(Occupational Therapy International Online Network, OTION)からつなげることができるし、以下のリンクでも可能である:https://wfot.link/covid19

World Federation of Mental Health (WFMH)

- COVID-19の感染状況は人類の生理的健康に大きく脅かしたほか,人類の心理にもさらに様々なストレスになった・この状況に対し,世界心理衛生連盟(World Federation of Mental Health)はこの厳しい感染状況の中での心理的安寧を促せるよう,対応する考えを提案した・ここでは一般の人々に対する提案を以下に簡潔にまとめる・
 - この期間中,「新型コロナウィルス」というレテルを特定の国家や人種に貼るべきではない、かえって感染者は何か間違ったことを行ってしまって感染したわけではないという心情を理解すべきである。
 - COVID-19感染者,COVID-19被害者,またはCOVID-19家族などの言い方をすべきではない、彼らは私たちと同じ人間であり,ただCOVID-19を経験しまたは治療中である.
 - 自分の不安を引き起こすニュースを読み込みをせず,できるだけ感染状況から生活への影響を軽減する具体的な情報に集中する、情報源は事実を陳述し,フェイクニュースではないことをよく確認する、まじめな公的機関,例えば疾病管制署のサイトもしくはLINEより情報を入手するように勧める。
 - 自分を守ると同時に他者をサポートする・
 - 機会があれば,周りのウィルスと戦って成功した人が陳述した自分の体験やエピソードを拡散する。
 - 機会があれば,第一線で戦っている医療従事者に尊敬と感謝の意を伝える。

American Occupational Therapy Association (AOTA)

- AOTAは作業療法サービスが非常に重要であると考える・かつ2020年3月19日アメリカ国土安全保障省(Department of Homeland Security)は声明を発表し・作業療法は重要な健康ケアスタッフの一員であると示した・
 - 感染状況がまだ落ち着いておらず,しかも作業療法は就業領域が幅広く,対象者が様々であるため,作業療法従事者は作業療法道徳規範に従って,状況によって 臨床対策を調整すべきである。
- AOTAはまた作業療法従事者にアメリカ疾病管理予防センター(Centers for Disease Control and Prevention)とメディケアおよびメディケイドサービスセンター(Centers for Medicare & Medicaid Services)の最新情報をフォローするように勧めた・

American Occupational Therapy Association (AOTA)

- AOTAは作業療法が対象者の重要なケアプランの一環であると視する・リハビリテーション介入が先延ばしされると・児童・青少年および成人の対象者は状況悪化の恐れがある・ゆえに作業療法は以下の項目に努力することができる:
 - 入院や再入院の可能性を軽減する
 - 筋肉の拘縮と関節の変形の可能性を軽減する
 - 運動と活動の参加を通して免疫力を高める
 - 心理的適応調整により他者との隔離に対応する・
 - 対象者は作業活動が制限されるため,適切な生活習慣,役割とルーティンの再獲得に導く
 - 家でまたは学校で教育や遊び学習などの活動の参加を推奨する
 - 作業遂行の自立度を高め,介護者と近距離接触の機会を減少させる

Occupational Therapy Australia (OTA)

- OTAは一般の人々を読者としたオンラインガイドブック「日常生活の混乱への対応」を出版した・中には流行期間中行動制限を守るや社会的距離を保つと同時に・個人の心身的健康に留意すべきである・どのように新しい日常生活に適応するかを改めて振り返り・以下の6つの項目から考えることができる
 - 生産活動,家でまたは外で仕事/学習,仕事が見つからない人は生産的であり続ける方法に分ける
 - 身の回りのケアの強化・食事・買い物・医療・運動・睡眠・心身的健康支援
 - 余暇,生活に喜びを加え,テレビ漬けにならないようにする
 - 自分の取り巻く空間を作り、環境を快適に変え、孤独感を和らげる
 - 予測可能なルーティンは精神的安定につながるので,場所や活動に少し変化があってもできるだけルーティンを維持する.例えば起床と就寝時間,運動習慣,仕事時間,宿題をする/遊ぶ時間,外出着を着替えるなど
 - 役割を維持する,通信ソフトで人間関係を保ち,もしくはこれまでのように電話をしたり,手紙やカードを書くなどができる.

Occupational Therapy Australia (OTA)

■ OTRの役割は人々に生活の変化に適応するように支援し、作業活動の調整(例えば新しいスキルの習得、異なる仕方、代替的な作業活動を見つけるなど)や環境調整(例えば新しい道具を使う、空間にある物の配置を変えるなど)を通して、現在の状況で作業に参加できるようにサポートすることである(Mynard, L., 2020)・

- RCOTはCOVID-19により業務実施方法や実施環境を変化しなければならないOTRに、 業務範囲の認定及びOTRの権利保障に関する内容を提言した。
- COVID-19により医療ケアのサービスパターンが大きく変化され,OTRも前線で挑戦に直面する・一夕に多くのOTRは迅速に反応し,大幅にサービスを変えるようと求められ,しかも自分が慣れていない環境で仕事するように要求される・OTRの職場/組織はOTRが業務に従事することを確保・支援する責任がある・

■ 作業療法業務は特定の範囲内に制限されていない・OTRが自分の専門推理を行うことができる・これらの活動は介入の一部であり、かつ作業遂行、参加を促進できれば、これらの活動は作業療法の業務範囲である・OTRが安全に仕事できるように確保するため、OTRに体温、血圧やほかのバイタルサインを測定する訓練が必要である・すなわち、以下の原則を満たせば、OTR自身が従事するもしくは作業活動を利用することは専門業務である:

- 対象者の作業の促進/維持を焦点に
- OTRの専門知識・技術と経験を利用し
- 十分な能力で専門的に介入を実施する

- COVID-19流行期間中,雇用者側はOTRにさらなる業務や責任を要求するなら,雇用者側は訓練,提言と指導をしなければならない・しかも保障のためOTRの代わりに代替保険費用(vicarious liability insurance)を負担しなければならない・このような状況で,OTRは特に専門業務範囲以外の業務が要求された場合,自分が保険の範囲内であるかを確認するため雇用者側に連絡をしなければならない・
- そのほか・RCOTは個人防護具に関する提言と指導を発表した(Personal Protective Equipment advice and guidance)・

Overview - For known or suspected cases of Covid-19 and people in vulnerable groups 疑われるケースやハイリスクグループに対する概観

Acute hospital high risk areas 急性期病院ハイリスクエリア Acute hospital 急性期病院 Primary, Community and Social care services, including people's homes 個人, 地域, ソーシャルケアサービス, 対象者の住宅を含む

以下の場所を含める:

重症者集中治療室

高依存治療室(High Dependency Unit, HDU)

救急部門

エアロゾルに曝露する場所,発生させる医療行為 (Aerosols Generating Procedures, AGPs) 以下の場所を含める:

急性期病棟

救急部門門

精神健康部門

学習障害および自閉症関連する環境

随時着用:

FFP3マスクを優先的に.

FFP3マスクが手に入らない場合、AGPsに曝露する際常にまたは使い捨てFFP2もしくはN95マスクを使用する.

防水防護服(AGPs曝露する際常にまた使い捨てを使用) プラスチック製エプロン(AGPs曝露時に必ずではない)

手袋(使い捨てに使用)

ゴーグル(AGPs曝露時常にまたは使い捨てを使用)

2メートル以内に着用:

防水サージカルマスク(常に使用)

プラスチックエプロン(1回に使用)

手袋(使い捨てを使用)

ゴーグル(常に使用)

2メートル以上の時着用:

防水サージカルマスク(常に使用)

ゴーグル (ハイリスクの場合常に使用することを勧める)

2メートル以内に着用:

プラスチックエプロン(使い捨てを使用)

手袋(使い捨てを使用)

参考文献

- World Federation of Occupational Therapists Public Statement Occupational Therapy Response to the COVID-19 pandemic. Available at https://wfot.link/covidpublic
- World Federation of Occupational Therapists Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists (revised 2016). Available at https://wfot.link/mseot16
- World Federation of Occupational Therapists COVID-19 pandemic Information and Resources for Occupational Therapists. Available at https://www.wfot.org/covid-19-information-and-resources-for-occupational-therapists
- https://wfmh.global/mental-health-considerations-during-covid-19-outbreak/
- https://www.aota.org/Publications-News/AOTANews/2020/Leadership-Statement-Coronavirus-COVID19.aspx
- https://www.aota.org/Practice/Health-Wellness/COVID19/practitioners-faq.aspx
- https://www.aota.org/Advocacy-Policy/Federal-Reg-Affairs/News/2020/OT-Pandemic.aspx
- Mynard, L. (2020). Normal life has been disrupted: Managing the disruption caused by COVID-19.
 Melbourne: Occupational Therapy Australia.
- https://otaus.com.au/member-resources/covid-19/online-learning-and-support
- http://relive.tw/covid-19-occupational-therapy/
- https://www.facebook.com/story.php?story_fbid=574340733432397&id=338690026997470
- https://www.facebook.com/379282515591137/posts/1274620906057289/
- https://www.rcot.co.uk/file/6522/download?token=vsrGxqKI